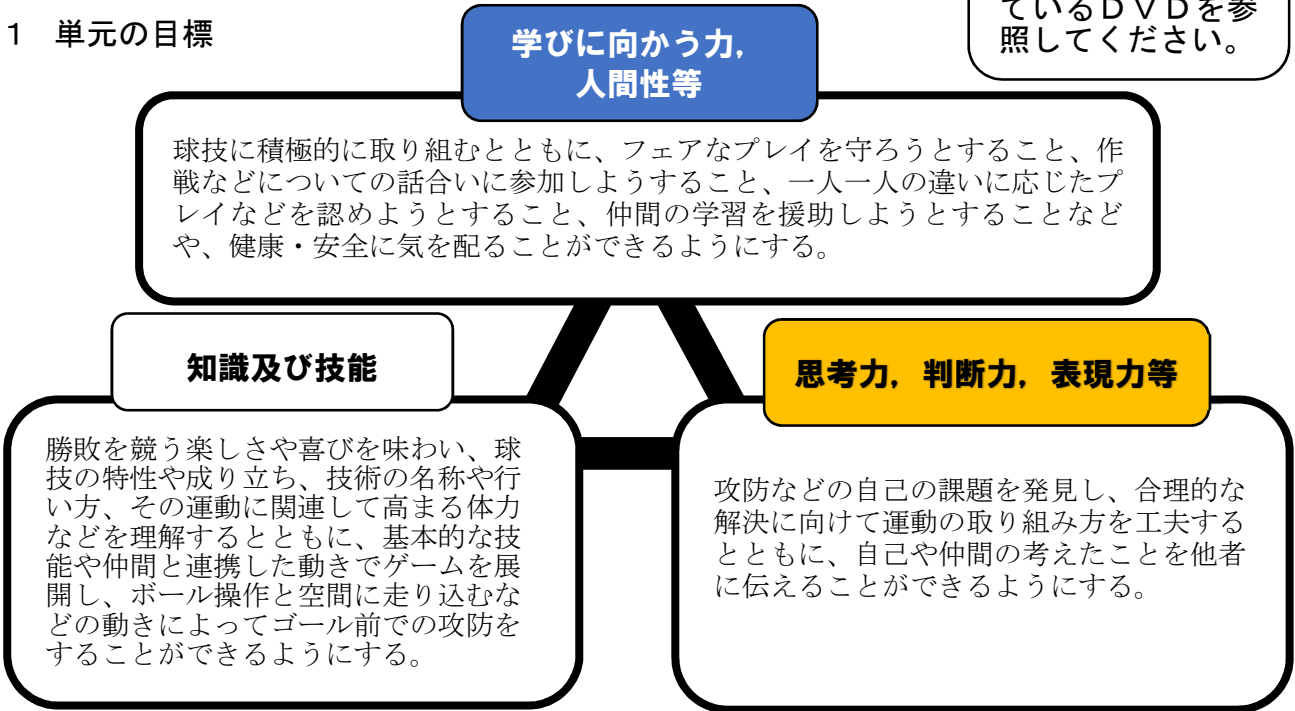


球技：ゴール型（バスケットボール）

動画は「ちばコレ channel」または学校に配付されているDVDを参照してください。

1 単元の目標



2 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
単元の評価規準	<p>○知識</p> <p>①球技の各型の各種目において用いられる技術には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>②学校で行う球技は近代になって開発され、今日では、オリンピック・パラリンピック競技大会においても主要な競技として行われていることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>③対戦相手との競争において、技能の程度に応じた作戦や戦術を選ぶことが有効であることについて、学習した具体例を挙げている。</p>	<p>○技能</p> <p>①ゴール方向に守備者がいない位置でシュートをすることができる。</p> <p>②マークされていない味方にパスを出すことができる。</p> <p>③得点しやすい空間にいる味方にパスを出すことができる。</p> <p>④パスやドリブルなどでボールをキープすることができる。</p>	<p>①提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。</p> <p>②提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。</p> <p>③仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。</p>	<p>①球技の学習に、健康安全に留意して、積極的に取り組もうとしている。</p> <p>②マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。</p> <p>③作戦などについての話し合いに参加しようとしている。</p>

3 指導計画（9時間）

時間	学習の流れ	知・技	思	態
導入 (全時間共通)	1 集合・整列・挨拶 ・出欠確認・健康観察を行う。 2 準備運動 ・ふくらはぎ、ももなどよく使う部位を中心に行う。 3 本時の学習課題と学習の流れの確認。			
1	<div data-bbox="236 667 1358 840" style="background-color: #4a7ebb; color: white; padding: 10px; border-radius: 15px;"> <p>(ねらい1) 基本的なボール操作を身に付け、仲間と協力して楽しさを味わうことができる。</p> </div> <div data-bbox="272 875 1096 999" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(学習課題) バスケットボールの楽しさを知ろう。</p> </div> <div data-bbox="240 1021 1112 1391" style="border: 2px solid black; border-radius: 25px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p><発問例> バスケットボールにはどのような楽しさがあるのだろうか。 <意図・解説> バスケットボールの醍醐味はシュートを決めることである。 そのことに気付かせ、シュートを積極的に打つ姿勢を身に付けさせる。最初の段階では様々なシュートを打ち、外してもシュートを積極的に狙う意識を持たせたい。</p> </div> <p>○主な学習活動</p> <p>1 オリエンテーション</p> <p>(1) 安全面の指導</p> <p>①エンドライン沿いに物を置かない。 ②故意にぶつかったり、ジャンプしている人の下に入らない。 ③使わないボールは必ず片付ける。</p> <p>2 シュート練習</p> <p>(1) ゴール下・ペイントエリアラインシュート ※動画① (左右の枠の位置からシュートし段階を踏んで距離を離す。) ※シュート競争などを適宜入れる。</p> <p>(2) レイアップシュート</p> <p>・スキップレイアップシュート (タン・タ・ターン 右・右・左のリズム) 両サイド</p>	<div data-bbox="1126 1397 1214 1738" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> 知② 【学習カード】 </div>		

<p>まとめ (全時間共通)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 チームでの反省 <ul style="list-style-type: none"> ・学習カードに自己の反省と今後の課題を記入しながら、チームでの課題や目標を共有する。 2 整列・振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習課題にフィードバックするように導く 3 整理運動 4 体調確認・挨拶・解散 			
<p>2</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(学習課題) パス・ドリブルを用いて、シュートを打とう。</p> </div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p><発問例> パスやドリブルの動作を習得しながら、シュートが打てるようになろう。 <意図・解説> バスケットボールはパスやドリブルを使い動きながらシュートを狙うスポーツである。パス、ドリブルのボール操作を身に付けさせたい。</p> </div> <p>○主な学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 リアクションパス・・・◆<u>1</u> 2 オールコートツーメンパス・・・◆<u>2</u> 3 ドリブルじゃんけん・・・◆<u>3</u> 4 ペイントエリアドリブルカット・・・◆<u>4</u> 5 ドリブル鬼ごっこ・・・◆<u>5</u> 6 フリースローライン (ハイポスト) からパス →レイアップシュート 7 フリースローライン (ハイポスト) からワンドリブル →レイアップシュート 	<p>知① 【学習カード】</p>		<p>態① 【観察】</p>

<p>3</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(学習課題) ディフェンスを抜いてシュートを打つためには、どんな動きが必要か考えよう。</p> </div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p><発問例> ディフェンスを抜いてシュートを打つためには、どんな動きをすれば良いか考えよう。 <意図・解説> バスケットボールは、ディフェンスを抜いてシュートを決めることが楽しいスポーツである。そこで必要な動きとして「フェイク」があり、相手をだます動きが必要であることに気付かせたい。</p> </div> <p>○主な学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 チーム練習（15分） ・既習した内容からドリブル・パス・シュート練習をチーム毎に考えて行う。 2 ラグビー 1 on 1 . . . ◆ 6 3 45度から 1 on 1 . . . ◆ 7 		<p>思① 【観察・学習カード】</p>	
<p>4</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(学習課題) 2 on 1 の攻め方、動き方を考えよう。</p> </div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p><発問例> 2 on 1 の状況でどのように攻めたら点数に結びつくだろうか。 <意図・解説> ボールマンがディフェンスを引き付けることでノーマークができ簡単にシュートが打てることに気付かせたい。</p> </div> <p>○主な学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 チーム練習（15分） ・既習した内容からドリブル・パス・シュート・1 on 1 の練習をチーム毎に考えて行う。 2 2 on 1 ボール回し . . . ◆ 8 3 2 on 1 ・どのように攻めたら簡単に点数が決めるか考えながら行うようにする。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>技① 【観察】</p> </div>		

<p>5</p>	<p>(ねらい2) バスケットボールの動きを身に付け、ミニゲームに生かすことができる。</p> <p>(学習課題) 3 on 2 を攻めるにはどのように動いたら良いか考えよう。</p> <p>〈発問例〉 3 on 2 を攻めるにはどのように動いたら良いだろう。 〈意図・解説〉 前時で学んだ 2 on 1 の攻め方を生かして、味方の人数が増えた場合の判断力を身に付けさせたい。</p> <p>○主な学習活動</p> <p>1 チーム練習 (15分) ・既習した内容からドリブル・パス・シュート・1 on 1・2 on 1 の練習をチーム毎に考えて行う。</p> <p>2 トライアングルパス・・・◆9</p> <p>3 ペイントエリアで 3 on 2 ※動画④、※動画⑤</p>	<p>技② 【観察】</p> <p>思② 【観察・学習カード】</p>
<p>6</p>	<p>(学習課題) 3 on 3・4 on 4 のミニゲームをしよう。</p> <p>〈発問例〉 パスをつないで得点に繋げるためにはどのように動いたら良いだろうか 〈意図・解説〉 パスゲームを行い、スペースを見つけ動き、パスをつないで得点に繋がられるようにしたい。</p> <p>○主な学習活動</p> <p>1 チーム練習 (15分) ・既習した内容からドリブル・パス・シュート・1 on 1・2 on 1・3 on 2 の練習をチーム毎に考えて行う。</p> <p>2 3 on 3 パッシングゲーム・・・◆10</p> <p>3 4 on 4 パッシングゲーム ・2 と同じやり方で人数を増やす。</p>	<p>技④ 【観察】</p> <p>態③ 【観察】</p>

7	<p>(学習課題) 3 on 3 (4 on 4) で試合をしよう。</p> <p>〈発問例〉 シュートをたくさん打つ (決める) ために、どんな作戦を立てると良いだろうか。</p> <p>〈意図・解説〉 今まで学んだことを生かして試合を行わせたい。</p> <p>○主な学習活動</p> <p>1 チーム練習 (15分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習した内容からドリブル・パス・シュート・1 on 1・2 on 1・3 on 2 の練習をチーム毎に考えて行う。また、作戦を意識した練習を考える。 <p>2 3 on 3 (ハーフコート) で試合 (3分)</p>	<p>知③ 【学習カード】</p> <p>技③ 【観察】</p>		
8 ・ 9	<p>(学習課題) オールコートで試合をしよう。(リーグ戦)</p> <p>〈発問例〉 今まで学んだことから、どんな作戦で試合に臨みますか。</p> <p>〈意図・解説〉 学んできたことを生かして試合を行わせたい。その中で、チームの作戦や課題を考えて取り組ませたい。</p> <p>○主な学習活動</p> <p>1 チーム練習 (10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習した内容からドリブル・パス・シュート・1 on 1・2 on 1・3 on 2 の練習をチーム毎に考えて行う。また、作戦を意識した練習を考える。 <p>2 試合 (1試合4分=全4試合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4 on 4 で行う。 ・審判と得点係は試合のないチームで行う。 ・自チームの試合に出ていない生徒は、外から応援や具体的な指示を出すことを意識する。 		<p>思③ 【観察・学習カード】 ← 8時間目で評価</p>	<p>態② 【観察】 ← 8時間目で評価</p>

4 指導の工夫

(1) 補強運動の紹介

- 2ボール同時投げ（コーディネーショントレーニング） ※動画⑦
- ワンバウンドボール飛ばし（投力向上・体の使い方）

①



②



③



- ワンバウンド背面キャッチ（コーディネーショントレーニング）
 - ・ボールを高くワンバウンドさせて背面でキャッチする。
- 片足水平バランス
 - ・片足で立ち、体を水平に伸ばしてから元の姿勢に戻す。
 - ・もう一方の足が上半身と水平になるよう意識する。
 - ・バランスを崩さないように注意する。

(2) ルール、教材教具の工夫、安全への配慮

①練習方法及びルールについて

○リアクションパス（◆1）

- ・2人組ボール1つ。1人はチェストパス、もう1人はバウンドパスを同時に行う。慣れてきたら、一方の人がどちらかのパスを行い、もう1人はそのパスと逆のパスを行う。



○オールコートツーメンパス（◆2）

- ・相手の進行方向に向けてパスをする。（リードパス）

※適宜リレー形式の競争を入れる。

○ドリブルじゃんけん（◆3）

- ・教師と生徒、生徒と生徒でドリブルをしながらじゃんけんをする。（顔を上げる意識）

○ペイントエリアドリブルカット（◆4） ※動画②

- ・ペイントエリア内を範囲とし、全員がドリブルをしながら、人のドリブルをカットする。カットされないように体でボールを守る意識を高める。
- ・カットされたボールがペイントエリアから出たら負け。

○ドリブル鬼ごっこ (◆5)

- ・鬼はボールを持たずに追いかける。その他大勢の人はドリブルをしながら逃げる。時間設定しながら行う。

○ラグビー 1 on 1 (◆6)

- ・オフenseはドリブルなしで、ボールを持ち、ディフェンスを抜いてレイアップシュートをする。
- ・ディフェンスは抜かれて良い。
- ・どのように動いたらディフェンスを抜けるか考え、フェイクが必要であることを気付かせる。

○4 5度から 1 on 1 (◆7)

- ・ドリブルを行うとミスが多くなるため、多少のトラベリングは良い。
- ・フェイク→ドリブルの動きをチャレンジさせる。
- ・ドリブルを1回から2回でシュートまでいけるようにする。

○2 on 1 ボール回し (◆8) ※動画③

- ・ディフェンスにカットされないようにパスを10回行う。
- ・ディフェンスは常にボールマンをマークしカットを狙う。(ボールにあたりに行く)

○トライアングルパス (◆9)

①



②



- ・オフenseが3人で三角形を作り、2人がディフェンスをしてパスカットを狙う。
- ・オフenseは1・2歩動いても良いが、あまり移動はしないようにする。
- ・オフenseのお互いの距離は3メートル程度。(遠くなりすぎないように注意)

○3 on 3 (ハーフコート) ※状況に応じて4 on 4に増やしても良い。(◆10) ※動画⑥

- ・3分で行う。
- ・最初はじゃんけんでオフenseを決める。
- ・オフenseがシュートを決めたり、ディフェンスにボールを取られたりしたら、スリーポイントラインの外までボールを出して攻守交替。

※審判は見ている人で行う。

②安全面への配慮及びルールの理解

- ・試合中などで生徒が慣れてきて、激しい動きになってくると怪我が生じやすくなる。そのため、ミニゲーム(ハーフコート3 on 3等)の時から、ファウルやトラベリングを起こした場合、笛を吹き反則であることを示す。そうすると、生徒は意識して動くため、ルールを覚えるのと同時に、ファウルをしないようにしていくことで怪我防止にも繋がる。安全面への配慮とルールの理解を同時に深めることができるため有効である。

バスケットボールチームカード

1時間の流れ

- ①集合・整列
- ②縄跳び(3分間)・体操
- ③整列・挨拶
- ④本時の学習内容の説明
- ⑤チーム練習
- ⑥学習内容の活動
- ⑦まとめ
- ⑧整列・整理運動・挨拶

バスケットボールで大切にしたい5つのトーク!!

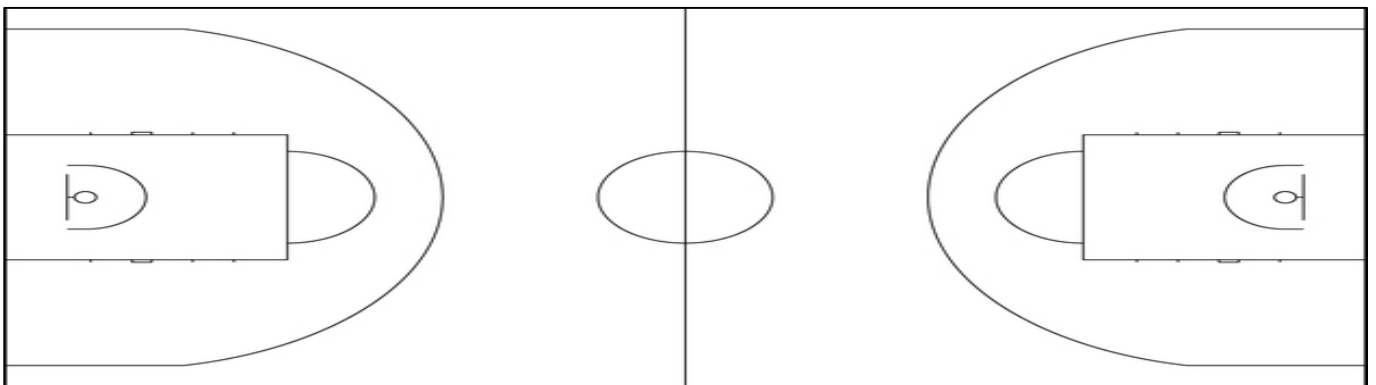
- ①ナイスシュート!! (盛り上げる!)
- ②ドンマイ! おしい! (励ます!)
- ③もっと右(左)に動いて!! (指示を出す!)
- ④どうしたら良いかな? (考える!)
- ⑤もっとこうしてみたら? (教える!)



チーム名 _____

メンバー チームスローガン! 「 _____ 」

リーダー _____



保健体育科学習カード【バスケットボール】

○自己評価（A・B・Cで評価）

年 組 番 氏名

日付／項目	／	／	／	／	／	／	／
ドリブルの上達							
パス・キャッチ							
シュート力							
積極的な活動							
アドバイス							

☆本時の学習について☆

日付	学習課題・活動内容	今日学んだこと・気付いたこと・できたこと	仲間にした（された）アドバイス

◇バスケットボールで身に付いたこと、学んだこと、工夫したこと（まとめ）◇